
ごらんごらん

上村忍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

じりんじりん

【Zマーク】

Z56120

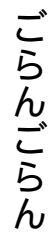
【作者名】

上村忍

【あらすじ】

じりんじりんじりんじりん

()

（）

“じらん、じらん、じらん。

想像してじらん。

君は今、髪を洗っているんだ。独りバスルームに入り、下を向いて頭をこすっている。

もちろん、田は閉じているよね。

そうした時に、ふと背中の部分に冷たい風を感じるんだ。

「変だな？」と想っていたら、冷たいしわだけの手が、背中を掴む。

爪が伸びているようだ。肌に食い込んで、痛い。かさかさの手だ。

おどりいで、君は振り向く。

そこには、何もいないんだ。

でも、君は、泡だらけの頭のまま、また背後に気配を感じるんだ。

想像してじらん。

大急ぎで頭を洗い、君はバスルームから飛び出す。

そうだよね、いやだもんね。さつきのはなかったことにしたいよね。

片つ端から電氣をつけて回つ、テレビもラジカセも大音量。

一安心だね。もつ、そこは闇はない。

君は髪を乾かそうと想つ。鏡に向かつ。

鏡に向かつてゐるとき、痴はばどいを見る？

顔かな？それとも頭？

その視線のはじに何かが見える。

何かが、

「シユツ」

と、横切つた。

後ろを振り向く？向かない？

気になるよね、何かがいるんだ。

君は自分の頭よりも、鏡越しに後ろを見ることになる。

気になりながら、髪を乾かす。

ドライヤーを入れた瞬間、

「バツン」

と辺りは暗くなる。

君は恐ろしくなる。

「大丈夫、ブレーカーが落ちただけ」と思いこむ。

目が慣れないウチに君はブレーカーに向かう。

濡れたままの髪に何かが触れる。

布？いや、かけてあつたコートだ。

目が慣れてくる。

ほんやつとコートが見える。

コートを手で払う。肉に触る。

コートを誰かが着ている。

かかつているコートを誰かが着ている。

コートを着た状態で誰かがかかつている。

想像してじらん。

この後、君はびづなるだらづ？

じりじり、じりん、じりん。

君は、想像する。

君は、パソコンを消す。

君は、風呂に入る。

ノーリー、リーリー、リーリー。

(後書き)

「想像して『Jらん?』って言つお笑い芸人いましたつけ? いませんでしたつけ? どちらにしても、かなり昔に書いたもので、その人のネタは知らなかつたのでパクリではないです。

うーん、言い訳くさい。そのお笑い芸人の名前つて、なんていうんだろう?

ま、いいや。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5612o/>

ごらんごらん

2010年10月29日00時25分発行